



日・ルーマニア戦略的パートナーシップ共同声明（骨子）



令和5年3月
外務省
中・東欧課

➤ 基本的価値を共有する同志国であるルーマニアとの二国間関係を、「戦略的パートナー」に格上げ。

総論（前文）

◆ 法の支配に基づく国際秩序の重要性、欧州とインド太平洋の安全保障は不可分であることを確認。

1 政治・安全保障協力

- ◆ 世界のいかなる場所であっても、力又は威圧による一方的な現状変更の試みに反対する決意を表明。
- ◆ ロシアによるウクライナ侵略や核の使用の威嚇を非難。対露制裁における国際社会の結束の重要性を強調。
- ◆ モルドバの平和、安定、領土一体性の重要性を認識し、そのために協力していく意思を表明。
- ◆ 国連全体の機能強化の観点から、国連安保理改革に向けた対話の継続と協力の強化を確認。
- ◆ 自由で開かれたインド太平洋の実現に向けた協力の強化や同地域での日EU間協力の支援/支持を確認。
- ◆ 国際法、特に国連海洋法条約に基づく、航行と上空飛行の自由の擁護及び紛争解決の重要性を確認。
- ◆ 東・南シナ海における力又は威圧による一方的な現状変更の試みへの強い反対を表明。
- ◆ 北朝鮮による核・ミサイル開発を非難し、C V I Dへのコミットメントを強調。拉致問題の解決を要求。
- ◆ 軍縮・不拡散の強化に向けた協力強化及び核兵器不拡散条約(NPT)体制の重要性を確認。
- ◆ ロシアによる新戦略兵器削減条約（新START条約）の履行停止の決定に関し、深い遺憾の意を表明。
- ◆ ルーマニアは日本の国家安全保障戦略が決定されたことを歓迎。安保を含む分野における対話強化で一致。
- ◆ 日NATO協力の強化の必要性、インド太平洋地域へのNATOの関与の強化の重要性を確認。

2 経済・開発協力

- ◆ 東日本大震災後のEUによる日本産食品の輸入規制措置撤廃に向けた協力の継続を確認。
- ◆ 持続可能な連結性、質の高いインフラの原則の堅持を表明。ブライラ橋の建設を成功例として歓迎。
- ◆ 開かれた、公正で包摂的な国際経済を後押しする政策を追求する決意と経済的威圧への反対を表明。
- ◆ モルドバを含む第三国向けの開発支援における関心を表明し、モルドバ支援プラットフォームの重要性を確認。

3 文化、科学技術、研究開発、イノベーション、人的交流

- ◆ 東京におけるルーマニア文化センター開設に向けた動きを評価。
- ◆ 学術交流、地方都市交流、核物理・極限レーザー等の科学技術・イノベーション分野等の協力を歓迎。
- ◆ デジタル化及びICT分野の協力強化に向け、具体的に行動していくことを確認。